

令和2年度 学校評価書

学校名:和歌山市立和歌山高等学校定時制 校長名:桐野作治

目指す生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○社会の変化に対応できる思考力・判断力・表現力を身につけた生徒の育成 ○平和を愛し、人権やルールを大切に人間愛に満ちた生徒の育成 ○運動能力を高め、健康で安全な生活を営む生徒の育成
--------	--

本年度の重点目標 ○開かれた学校 ○豊かな心の醸成 ○確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、地域との連携を図るため、教育活動を広報する。 ・生徒、保護者、地域の声を反映させ、特色ある教育活動を展開する。 ・全教育活動、教育場面を通して、自他の「命」を最優先して尊重する態度を育てる。 ・基本的生活習慣を確立させ、豊かな人間性と創造性を備えた生徒を育成する。 ・基礎・基本を定着させ、情報化社会に積極的に対応できる能力を養う。 ・勤労を重んずる精神を養うとともに、個人の適性に応じた進路指導を推進する。
--	---

達成度	A	十分に達成した(80%以上)
	B	概ね達成した(60%以上)
	C	あまり十分でない(40%以上)
	D	不十分である(40%未満)

現状と課題	課題解決の取組	自己評価	改善充実策	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者評価
安全教育・安全管理 安全教育として、生徒指導部と協力し、交通安全講話等を実施し、通学時の意識向上を考慮する。安全管理は、避難訓練を実施し、緊急避難時の避難経路等を生徒に把握させ、自己防衛の意識を持たせる。特に今年度は、保健部とも協力し感染症予防にも力を入れる。また、職員においては、生徒の誘導等生徒の安全管理の意識を充実させる。	特設LHRを実施し、全校生徒に対して外部講師に講話をしてもらう。 常設LHRの時間を利用して、地震時の避難訓練とその後の津波時の避難訓練を同時に行い、避難場所の違いを生徒に指示誘導し理解させる。同時に自分の判断の大切さも理解させる。感染症予防において、衛生管理の大切さを十分理解させる。	コロナ感染予防の実施により、行事の実施にある程度の制限をかけた対応したが、上手く対応できたと考えられる。 避難訓練等に関して、昨年同様の実施方法で生徒も真剣に取り組み、講話も十分理解していたと思う。	感染症予防に関して、保健部だけに任すのではなく、協力しあって校内の安全を維持していかなくてはならない。 本年度は市高デパートがコロナ禍の影響により実施できなくなったが、今後は市高デパート以外の行事等で、地域との関わりをもっと積極的に持っていかなければならない。	B	障害のある生徒の安全・防災対策を今以上に強化する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症予防対策についても強化する。個々の意識を高める。 ・行事等にも制限がかかる中、適切に外部講師の講話等取り入れながら安全教育を実施できたことは評価できる。衛生管理にも留意しながらの工夫ある取組に今後も期待する。 ・少年の犯罪被害で最も多いのが自転車の盗難であり、引き続き自転車の鍵掛けコンテストに参加していただき、鍵掛の意識向上を図り被害防止をしていただけたらと思う。 ・犯罪被害と共に生徒の身に日常起こり得る危険性があるのは交通事故であり、その防止のため街頭等での自転車等の通行指導等が重要であると思う。 ・交通安全教育、危機管理能力を高めることが一生においても大切かと思う。
生活指導 生徒人数が減少しているが、素行面では問題なく学校生活を送れている。今年度は、新型コロナウィルスの影響で、生徒会行事が予定通り行うことができないので、生徒間のコミュニケーションの機会が少なくなりつつある。	事後指導だけではなく事前指導にも力を入れる。また、一人の生徒に、沢山の先生がかかわれるよう、相談室を設けコミュニケーションをとれる状態を作る。可能な限り制約はあるが生徒会行事を充実出来るよう取り組む。	図書館・相談室が開設され、生徒とのコミュニケーションも増え、あらゆる指導が充実するようになった。コロナ禍の中、生徒会活動は思うようにいかなかったが、生徒会役員に積極性が生まれ、今後の活動が楽しみな状況にある。	コロナの取束に向け生徒への感染予防の呼びかけを強化し、安心・安全な学校生活を送れるよう取り組む。生徒たちの自主性を尊重した生徒会活動徒会・学校行事ができるよう取り組みたい。	C	内向的な生徒が増えてきているので、より一層生徒会活動・学校行事を工夫することが必要になる。生徒たちの要望を受け止め、良い方向に進めていくことが必要と考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・先生と生徒でしっかり話を聞いて、コミュニケーションをしっかりと図る。 ・図書室、相談室を開設し、生徒たちとのコミュニケーションを充実させる取組を実施したところが良い。内向的な生徒が増えてきていることなので、より生徒たちの自主性を育てる生徒会活動や行事の充実をお願いする。 ・新型コロナウィルスの感染予防指導を強化していただきたい。 ・保護者との意思統一や情報共有が重要である。
学習指導 本校入学前に不登校であったり、学校を休みがちであった生徒が依然として多く、そのような生徒が積極的に学習活動に取り組めるよう、適切な対応が必要である。また、多様な個性を持つ生徒たち個々に対応した指導が必要である。身体に障害がある生徒が学習しやすい環境の整備を継続して行う必要がある。	学び直しの観点から基礎学力の定着を目指して授業を展開する。適切な補助教材を作成する等の工夫をして指導する。また、少人数のクラス構成を生かし、個々の得意な分野の学力や技能をいっそう伸ばし、得意な分野を克服できるような授業展開になるよう心がける。欠課時数が増加傾向の生徒は、随時指導を行う。家庭と連絡を密にして、きめ細やかな指導を行う。身体に障害のある生徒には、状況に応じて配慮を行う。	新型コロナウィルス感染症対策のため約2ヶ月間臨時休業となり、自宅学習用課題の作成・配付と適宜の登校指導、夏季休業日短縮等により学習進度の遅れを防止した。授業再開後は、各生徒の特性に合わせた授業の展開に努め、得意分野の資格検定上級を取得する生徒が前年度より増加し、定時制では県下で初めてとなる、全国商業高等学校協会主催検定1級三種目合格者を輩出した。不得意分野の克服に向けて基礎的な事柄を定着させる授業も展開した。中学校時に長期欠席だったが、学校生活に意欲的に取り組めるようになった生徒も複数いた。身体に障害のある生徒への十分な配慮や対応を行うことができた。	今後も基礎学力の定着に努め、生徒一人一人の学力や特性を見極めながら授業を展開していかなくてはならない。補助教材も、映像や画像など視覚的なものを多く取り入れる等、興味・関心を高めるための工夫が必要である。身体に障害のある生徒には、引き続き、状況に応じて配慮を行う。新型コロナウィルス感染症等の緊急事態が生じた場合でも、学習機会を損なわないように、臨機応変に対応できる準備をしておく必要がある。	A	多様な個性を持つ生徒個々に対応した指導を継続していく必要がある。特に、基本的な学力を定着させるため、学び直しや反復練習等を引き続き行っていく必要がある。できるだけ多くの生徒に興味・関心を持たせるための補助教材の作成も必要である。又、得意分野の技能や能力をいっそう伸ばせるような授業も展開していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事との両立は大変だと思います。勉強に対する意欲を高めるように指導をよろしくお願いいたします。 ・コロナ感染症予防対策としての休業を補充するための夏季休業短縮等による学習補充の取組は大変ご苦労様でした。人数が少なくなりつつあるが、個々に課題を抱える生徒がいる中、各人に合わせたよききめ細やかな教育の充実が今後も期待する。 ・定時制であっても高校に行きたいと思う生徒が学校に来ているので、その気持ちや意欲を大切に、途中で挫折しないように木目の細かい指導をしてもらえたらと思う。 ・コロナの影響で遅れた授業を、取り戻していただきたい。 ・教職員の前向きな姿勢によって学習活動が充実していると感じられる。 ・引き続き、生徒に自立自身につながる資格検定合格に向けた取り組みを行うしてほしい。
進路指導 4月当初におこなった進路希望調査では卒業予定者8名のうち、進学希望者1名、就職希望者5名、未定者2名であった。本年度は卒業予定者も少なく、自分自身の進路について具体的な方向が定まっている生徒がほとんどである。しかしながら、その目標達成のためには根強い努力と準備が必要であり、進路部としてできる限りの支援をしていきたいと考えている。	まず卒業予定者に対しては、各教科の先生方に補習等をお願いし、進路実現に向けた環境を整備したい。また全生徒に対しては、昨年度に引き続き就職するための意識付けや自己の適性を把握することを目的とした特設の進路LHRを予定している。	不十分ではあるが、生徒とコミュニケーションを密に図ることにより、生徒は自分自身の進路について真剣に考え、その目的を達成するために行動できるようになってきている。例えば、就職希望者は、合同企業説明会に参加したり、企業や作業所を見学する等取り組んでいる。また進学希望者は、自己の適性に合った志望校を絞り、教員の指導の下積極的に取り組み合格を決めた。	引き続き、進路未定者に対しては、関係機関との連携を行い生徒に多様な進路情報を提供し、進路実現が出来るように努める。	B	働くことの意義や就職に向けた職業意識の持ち方等を学習したうえで、生徒が自分自身のキャリアプランニングや将来デザインシート等を作成し、それらを実現するために今自分は何をしなければならぬかを考えられるような進路LHRを計画してゆきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナにより進路も自分に合ったところは、少ないかもしれませんが、できる限り支援をお願いします。 ・次年度に向けて生徒が自分自身のキャリアプランニングや将来デザインシート等を作成し、進路指導に役立てていくとあるので、より早い段階から目標設定を行い、それをサポートしていく体制の充実にもさらに取り組んでいくことを期待する。 ・生徒の進路意欲、または希望する職種への就職がかなうように、指導やアドバイスしてもらえたら良いと思う。 ・ICTの急速な進歩により、今後自分自身がつぶれないようICTに関する研究授業を取入れるなどの工夫が必要である。